

昨年の山林火災からの山林再生に向け

釜石市

尾崎半島で植林活動を実施



急斜面での植林作業。体力は使いましたが充実した作業でした。

昨年5月に釜石市尾崎半島で大規模な山林火災が発生しました。連合岩手釜石・遠野地協は、釜石地方森林組合（久保知久組合長）とともに6月23日（土）に尾崎半島の山林再生に向け植林活動を実施、約400本の苗木を植樹しました。



高橋参事（左から2人目）から森林機能について学ぶ

釜石市尾崎半島で発生した山林火災は記憶に新しいところですが、釜石地方森林組合では、大きな被害を受けた尾崎半島の山林の再生や焼け出された木の活用などに取り組み、植林活動やグッズの製作・販売などを行っています。釜石・遠野地協は森林組合の活動に賛同し、6月23日（土）に山林火災現場への植林活動に取り組みま

した。植林活動には、釜石・遠野地協から9名（東北電力労組、県職労、事務局）が参加、さらに県内の地協事務局長・職員7名も参加し、計16名が8組になり、約2時間で400本の苗木を植えました。また、植林後は、釜石市民ホール「TETTO」で森林組合の高橋幸男参事を講師にお迎えして尾崎半島大火被害と森林機能についての学習を行いました、あわせて森林組合の手塚さや香さんから火災で焼け出された樹木を活用したグッズの紹介をいただきました。なお、植林には、森林組合の久保知久組合長やスタッフの皆さんにも指導者として参加していただき、あわせて事前の準備もしていただきました。深く感謝いたします。

2018 平和集会・平和行進に参加しよう！

釜石地区平和集会 2018年7月25日 18時30分～釜石教育会館 集会後・平和行進

遠野地区平和集会 2018年7月25日 17時45分～遠野教育児童会館 集会後・平和行進

7月9日（月）連合岩手会長の地協訪問

八幡会長が来訪



遠野市との意見交換、左端は菊地充市議



釜石市長（左端）との意見交換



森林組合との意見交換。左から2人目が久保組合長

地域課題について自治体や団体と意見交換

連合岩手は、県内の地域課題を集約するとともに各地協の役員や組織内議員との交流を進めるため「会長の地協訪問」に取り組んでいます。

釜石・遠野地協には7月9日（月）に連合岩手の八幡博文会長が来訪し、地協の大和田議長、大槻事務局長とともにエリア内の自治体や団体を訪問しました。

遠野市役所では、飛内副市長や伊藤総務課長が対応し、雇用問題、人手不足、地域づくり、産業振興、少子高齢化などの市政課題について意見交換しました。意見交換に

は、菊池充市議と遠野市職労委員長でもある地協の菊池喜彦副議長も同席しました。

釜石市役所では、野田市長や平松産業振興部長や担当者が対応し、震災復興の状況と課題あるいは来年に迫ったラグビーワールドカップや8月のプレイベントに向けた取り組み等について意見交換しました。釜石市役所

には、松坂喜史市議、菊池秀明市議、後藤文雄市議も同席しました。釜石地方森林組合では、久保組合長や高橋参事、手塚さや香さんが対応し、6月に実施した尾

崎半島の植林活動をはじめとする森林組合と連合岩手との活動の連携について意見交換しました。また、山林火災で焼け出された樹木を活用したグッズの紹介も受け、連合岩手結成30周年事業での活用等について協議しました。

釜石商工会議所では、佐々専務理事と永田事務局長が対応し、震災後の経済状況や働き方改革、

ラグビーワールドカップ、商工業の後継者問題・人手不足など幅広く意見交換し、「婚活」などの課題について今後も継続的に意見交換することとしました。

連合岩手と釜石・遠野地協は、意見交換した課題を整理し、政策・制度要求や地協活動と団体活動との連携なども含め活動に活かしていきます。

青年組合員意見交換・交流会を開催

地協青年委員会結成に向け意見交換

釜石・遠野地協では、地協での「青年委員会」結成に向けて取り組むこととし、6月28日（木）に各組織の青年組織役員や青年担当役員、組合員の参加のもとで「青年組合員意見交換・交流会」をイオンタウン釜石で開催しました。

「意見交換・交流会」には、県職労、岩教組、高教組、新日鐵住金釜石

参加者からは、各組織での活動状況や、地協が提起した方針等への考え方について発言がありました。前向きに組織内で議論する意見もあり、地協では今回の意見交換・交流会の議論を受けて9月の幹事会で具体的な方針を示し、再度青年組合員と意見交換しながら青年委員会結成に取り組むこととしました。